

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |              |
|-------|--------------|
| 施設番号  | 66-1297      |
| 施設名   | 大島なかよし保育園    |
| 施設所在地 | 江東区大島3-15-10 |
| 法人名   | 社会福祉法人 悠晴    |

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

|               |
|---------------|
| 自然<br>米の育ちを知る |
|---------------|

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

食育活動に力を入れ、各年齢にあった食育計画を柱とした保育を展開し、様々な活動や体験を通して身体も心も育む基本理念のもと「自然」というテーマに沿った取り組みを行い、子どもたちの身近にある植物に触れ、興味・関心を引き出していく。また、月1回の食育集会でも『お米について知ろう』のテーマを用い、栄養士からの話を聞いたうえでお米の育ち方を確認できるため。

田植えから収穫まで自分たちで行い、お米ができるまでを実際に観察する。残った稲で作れるものを考え製作を楽しめるようにする。

### 2. 活動スケジュール

|                             |
|-----------------------------|
| 1, 田植えの導入で電子黒板を用いて田んぼの様子を知る |
| 2, 田植えをする                   |
| 3, 日々の水やりを行う                |
| 4, 稲刈りをする                   |
| 5, 玄米と白米の違いを知る(食育集会)        |
| 6, 脱穀を自分で行う                 |
| 7, 残りの藁を切る・乾かす              |
| 8, 正月飾りを作る                  |
| 9, 保育園の玄関に飾りに行く             |

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

大き目のプランター・黒土・荒木田土・古代米の稲

電子黒板

保育園の玄関わきに設置し、日々の観察が出来るようにした。

当番活動の中で田んぼの水の管理を行う。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- 1, 田植えの導入で電子黒板を用いて田んぼの様子を知る
- 2, 田植えをする
- 3, 日々の水やりを行う
- 4, 稲刈りをする
- 5, 玄米と白米の違いを知る(食育集会実施)
- 6, 脱穀を自分で行う
- 7, 残りの藁を切る・乾かす
- 8, 正月飾りを作る
- 9, 保育園の玄関に飾りに行く

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

田植えでは泥の中に稲を植える際「気持ちいい」「もっとぎゅってやるの?」と感触を感じていた。稲が育ち、稲穂を見つけると「お米の赤ちゃんができてきた」と友達と会話をしていた。食育集会でお米のぬいぐるみで白米と玄米の違いを覚えてもらった後の脱穀だったので「白米が出てきた」と皮を剥きながら話す姿が見られていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

苗から最後まで工程に全て関わることができたので子どもたちのお米の育ち方についての知識がふえ、子どもたちの会話の中にもお米の話が増えた。

残った藁を乾かしてしめ縄づくりをすると前月のツリー作りの経験もあり、とてもスムーズに作ることができていた。経験を通じて子どもたちの活動の意欲も高まっていた。